

# 歯科保健関係統計資料

## 2018年版



平均余命が男女とも80歳を超え、平均寿命≒健康寿命とするために疾病予防や健康増進、介護予防といった様々な施策が進められております。歯科疾患と医科疾患の関連性も科学的に明らかとなり、糖尿病や循環器病、がんなどの治療に歯科治療はかかせない存在となってきました。さらに近年では健康な状態と介護状態との中間状態の一つ、いわゆるフレイルやオーラルフレイルが注目を集めており、今後も歯・口腔の健康増進の推進が必要であることは言うまでもありません。

本書は歯科の現状を知る上で必要な統計調査を幅広く集積、経年的な情報として掲載しております。国民すべてが心豊かに生活できる活力ある社会となるよう、姉妹書『歯科保健指導関係資料2018年版』とあわせてご利用ください。

**東京歯科大学社会歯科学講座 監修**  
**A4判変型／296ページ**  
**本体3,000円+税／送料350円**  
**ISBN978-4-89605-343-2**

**一般財団法人 口腔保健協会**

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル501  
TEL 03-3947-8301 FAX 03-3947-8073  
<http://www.kokuhoken.or.jp/>

### 目次

#### I 口腔保健

- 第1章 歯科疾患の実態
- 第2章 歯科保健行動
- 第3章 う蝕の予防
- 第4章 母子歯科保健
- 第5章 学校歯科保健
- 第6章 成人・老人歯科保健

#### II 地域保健・医療

- 第1章 保健行政の概要
- 第2章 人口問題と民族衛生
- 第3章 栄養

#### III 歯科保健行政

- 第1章 地域における保健サービス
- 第2章 医療施設
- 第3章 医療関係者
- 第4章 歯科保健事業

#### IV 社会保障

- 第1章 社会保障の現況

#### V 参考資料

- 1. 歯科関係教育機関